

令和5年度

第2回岐阜県教科用図書西濃地区採択協議会 議事要旨

1 日 時 令和5年7月10日(月) 午前9時00分～午後16時00分

2 会 場 スイトピアセンター学習館7階 会議室1

3 議 事

(1) 会の成立宣言

- ・協議会委員30人中24名の出席があり、本会の成立を宣言した。午後より、3名参加。

(2) 西濃地区採択協議会会長挨拶

- ・岐阜県では、県内7つの地区に分けて採択協議会を実施している。
- ・本会では採択原案を作成し、各市町(組合)教育委員会で議決される。
- ・小学校においては主任研究員から綿密な報告が行われる。不明な点について質問をし、協議をお願いしたい。
- ・西濃の児童にあった教科書を採択できるよう、積極的な意見交換をお願いしたい。

(3) 第1回採択協議会以降の経過報告

- ・研究員による調査研究を、6月1日、6月29日、7月5日の3回実施した。
- ・6月に西濃地区教科書展示会を14日間実施し、そこでの意見書について資料に添付した。
- ・着眼点に基づいて調査研究した結果を、発行者の特色として意見書にまとめた。
- ・本日の協議の流れについての説明。

(小学校について)

全ての発行者について、特色を着眼点に基づいて説明。その後、協議、採決を実施。

(中学校について)

中学校については、令和5年度と同様の教科書を採択するかについて協議。

(4) 議案の審議

- ・規約第3条に基づき、採択協議会会長の進行で議事を行った。

第1号議案

- ・『令和6年度使用小学校用教科用図書についての調査研究結果』を報告し、種目ごとに協議及び採択原案を決定した。

国語

<報告>

- ・「東書」「教出」「光村」の3者について調査研究を行った。
 - ・調査研究結果について、国語の指導で重点とする着眼点着眼点の2点1-(3)、2-(3)を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - 2 西濃地区の指導の方針に関すること(3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実

<協議>

質問：・調査結果一覧表で、3 印刷・製本等に関すること(1)教科書の厚み、重量項目について、一人一台端末の観点から、重量について関心の高い点でもある。「東書」と「光村」の調査結果について詳しく教えてほしい。

- ・「光村」の巻頭ページ「国語の学びをみわたそう」は教科の本質に即したものになって

いる。「東書」に類似したページがあるのかどうか教えてほしい。

- ・一人一台端末を活用した学びについては近年重視されている。「調査項目2 西濃地区の指導の方針に関すること(2) 児童がICTを活用する学習活動の充実について」、「東書」と「光村」について、詳しく教えてほしい。

回答：・各者とも重量については、配慮されている。具体的なグラム数は調査していないが、研究員で持った感覚で、協議し判断した。

- ・「光村」の巻頭ページ「国語の学びをみわたそう」は、今までなかったものでよく工夫されている。「東書」も類似したページはあるが、「光村」の方が詳細に記されている。
- ・二次元コードを含め、ICTについては目的に合った学びになっているかについて調査を行った。二次元コードは、全学年で東書は600以上、光村については200以上が位置付いている。数の問題ではなく、社会に出てからスピーチなどにおいて活用できる力が身に付いていくかどうかについて調査し、「光村」が優れていると判断した。

意見：・意見なし

<採決>

- ・種目「国語」の教科書については、発行者「光村」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

書写

<報告>

- ・「東書」「教出」「光村」の3者について調査研究を行った。
 - ・調査研究結果について、書写の指導で重点とする着眼点1－(1)、2－(2)を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること(1) 資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成
 - 2 西濃地区の指導の方針に関すること(2) 児童がICTを活用する学習活動の充実

<協議>

質問：・動画の活用について、授業の時にどのように活用しているのか教えてほしい。

- ・「東書」(いくつか設定)、「光村」(豊富に設定)の動画の違いについて、質の違いがあれば教えてほしい。
- ・「光村」SDGsの記載はあるが、「東書」にSDGsが記載されているページはあるのかどうか教えてほしい。

回答：・各学校について環境設備が違うので、一概には言えないが、多くの学校で大型モニターに写し、児童に提示することが主な活用の仕方となっている。これからは、児童が一人一台端末を活用し、一人一人が活用していくようになっていくのではないかと想定している。本採択については動画の質ではなく教科書そのものが対象となっている。

- ・左利き児童の活用について、右利きの教員が多い中で課題となっている。左利きの児童の活用に代表されるように、個の学びについて「光村」の方が優れている。
- ・3者ともSDGsの記載はあるが、差が付くほどの内容にはなっていない。

意見：・意見なし

<採決>

- ・種目「書写」の教科書については、発行者「光村」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

社会

<報告>

- ・「東書」「教出」「日文」の3者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、社会（地理的分野）の指導で重点とする着眼点1－（3）、2－（3）を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること（3） 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること（3） 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実

<協議>

- 質問：・「東書」に二次元コードが多く位置付いていたが、他の2者と比べて、どのような違いがあり、どのような検討されたかを教えてほしい。
- ・「東書」の第6学年2分冊のデメリットがあれば、教えてほしい。
 - ・人権教育の学習について、どのような差があるのか教えてほしい。
 - ・「日文」について、海津市のページが8ページの分量で掲載されており、他の2者よりも充実しているが、どのような検討がされたのか、教えてほしい。
- 回答：・3者とも二次元コードが分類され、素晴らしいものになっているが、「東書」の方が調べるページが充実しており、より優れている。
- ・重さのメリットはあるが、関連付ける学習や、忘れ物という点についてデメリットがあると思う。
 - ・3者とも、江戸時代について人権教育にかかわる学習内容が位置付いている。「東書」の方が、囲みで示されたり、掲載されているキャラクターについて配慮されたりしており、より優れている。
 - ・海津市に絞って考えると「日文」は優れているが、4学年に渡って考えると「東書」の方が優れていると判断した。

意見：意見なし

<採決>

- ・種目「社会」の教科書については、発行者「東書」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

地図

<報告>

- ・「東書」「帝国」の2者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、地図を活用した指導で重点とする着眼点1－（2）、2－（3）を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること（2） 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること（3） 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実

<協議>

- 質問：・「帝国」について、デジタルコンテンツが充実しているという説明がされていたが、もう少し詳しく教えてほしい。
- ・歴史学習の関わりについて、例えば78、79など「東書」の方が世界とのかかわりも意識して位置付けられている。「帝国」の場合、江戸時代と書かれながら江戸時代の説明になっていない箇所がある。歴史学習とのかかわりについて、「帝国」は少し心配な点があるが、その点についてはどのように考えているか教えてほしい。
- 回答：・あくまで紙面での教科書として採択を実施している。二次元コードでは、帝国49箇所、

東書 36 箇所となっている。

- ・ 小学校の歴史学習は日本の歴史、中学校の歴史学習は世界の中での日本の歴史となっている。「東書」は世界とのかかわりの中での日本のことはより分かるようになっており、発展的な学習においては優れている。しかし、小学校での歴史学習の内容を考えると「帝国」の方が適していると考ええる。

意見：・「東書」p39、「帝国」p59 の中部地方のページを比較し、西濃地区の取り扱いを見ると西濃地区の地名などが位置付けられている「帝国」がふさわしいと考える。

<採決>

- ・ 種目「地図」の教科書については、発行者「帝国」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

算数

<報告>

- ・ 「東書」「大日本」「学図」「教出」「啓林館」「日文」の6者について調査研究を行った。
 - ・ 調査研究結果について、数学の指導で重点とする着眼点1－(3)、2－(3)を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - 2 西濃地区の指導の方針に関すること(3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実

<協議>

質問：・ICT活用についての各者の比較について、教えてほしい。

- ・ 主体的・対話的で深い学びをどのように捉え、内容的な取り扱いをどのように考えていくとよいのか教えてほしい。「大日本」「東書」を比べると「大日本」は様々な考えがあり、「東書」は一つの考え方が書かれている。

回答：・各者二次元コードが位置付けられており、目的に応じたデジタルコンテンツがある。プログラミング教育についても位置付けられているが、「東書」は第4学年のみ、「大日本」は全ての学年に位置付けており、「大日本」の方が段階的に学べるという点で優れている。

- ・ 各者差異はある。「東書」は一つの考え方を取り上げる傾向があり、「大日本」は多様な考え方が掲載され、比較検討されている傾向がある。「大日本」のように、多様な考えがあった方が児童のよりどころになると考える。

意見：・色々な考え方があった方が、自分の学習の拠り所になり、教科書としてふさわしいのではないかと考える。

- ・ 「大日本」の方が多様な考え方を生み出すという点でよいということは分かった。しかし、多様になっているが故に、分かりにくさや配慮しなくてはならない点があるということは留意しなければならない。

<採決>

- ・ 種目「算数」の教科書については、発行者「大日本」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

理科

<報告>

- ・ 「東書」「大日本」「学図」「教出」「信教」「啓林館」の6者について調査研究を行った。
- ・ 調査研究結果について、理科の指導で重点とする着眼点1－(1)、2－(2)を中心に各発行者の特徴を報告した。

- 1 学習指導要領に関すること(1) 資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成

2 西濃地区の指導の方針に関すること (2) 児童が ICT を活用する学習活動の充実

<協議>

質問：・着眼点3—(1)について、教科書の重みと重量からすると、「学図」の方が適切なのではないか。

回答：・教科書の重みだけではなく、写真や文字の見やすさも考えて、重みと重量を総合して、判断をしている。

意見：・ただ、デジタルコンテンツ活用すればよいというものではない。二次元コードがどのような意図で掲載されているのかについて、「東書」には記載があり、分かりやすかった。

<採決>

・種目「理科」の教科書については、発行者「東書」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

生活

<報告>

- ・「東書」「大日本」「学図」「教出」「信教」「啓林館」の6者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、理科の指導で重点とする着眼点1—(1)、2—(3)を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること(1)資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること(3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実

<協議>

質問：・理科では「東書」が採択原案として可決されたが、第1・2年生の「生活」において「啓林館」が採択原案となると、違う発行者になり、児童の学びへの影響について心配である。

・生活の学びにおいて、図表や写真などの大きさは大切になってくるが、図や写真などについて、調査研究で大切にされたことがあれば教えてほしい。

回答：・「東書」の理科、「啓林」の生活ともに問題解決的学習が大切にされている。おもちゃを作る学習において、おもちゃが動く理由について考える場面があり、理科につながる場面が多くあるため、発行者による差は心配ないと考える。

・大きさは「啓林館」の方が小さく、写真の大きさについても差があるが、「啓林館」下巻13ページ、「東書」9ページを比較しても遜色ない内容になっている。野菜を取り上げるページについても啓林館の写真の方が小さいが、学研の図鑑との関連が図られており、問題なく活用できると考えている。

意見：・意見なし

<採決>

・種目「生活」の教科書については、発行者「啓林館」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

音楽

<報告>

- ・「教出」「教芸」の2者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、音楽の指導で重点とする着眼点1－(2)、2－(3)を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること(3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実

<協議>

質問：・2者の特徴について説明があったが、「教芸の方がより主体的である」と説明があった部分については、どの点を見れば分かるのか、教えてほしい。

回答：・学習活動において、試行錯誤できるかどうかを視点にして調査・研究を行った。具体的には、「見通し」・「振り返り」ができるかという点で考え「教芸」の方がより主体的に学ぶことができると考えた。「教芸」については、毎時間、吹き出しなどを見て、どのように学んでいくとよいか分かり、児童がより主体的に学ぶことができると判断した。「教出」については、要素が書かれていることに留まっており、「教芸」の方がより優れている。

意見：・コロナ禍において、音楽をどのように学習をしていくかについては頭を悩ませる部分が多くあった。「教芸」の方がどんな状況であっても、一人一人学びを進めることができると考えた。また、西濃地域にも学校規模に差があり、小規模校もある。「教芸」の方がどのような環境の児童にとっても表現活動など学び進められるものになっていると考える。

<採決>

- ・種目「音楽」の教科書については、発行者「教芸」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

図画工作

<報告>

- ・「日文」「開隆堂」の2者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、美術の指導で重点とする着眼点1－(3)、2－(3)を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること(3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実

<協議>

質問：・質問なし

意見：・意見なし

<採決>

- ・種目「図画工作」の教科書については、発行者「日文」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

家庭

<報告>

- ・「東書」「開隆堂」の2者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、家庭の指導で重点とする着眼点1－(1)、1－(3)、2－(1)、2－(3)を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること(1) 資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成
- 1 学習指導要領に関すること(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること(3) 個別最適な学びと協働的な学びの具現に向けた、多様な学びを支援する教育の充実

<協議>

質問：・質問なし

意見：・書写でも左利きの児童に対する配慮について話題となったが、「東書」では家庭も同様に利き手についての配慮、失敗例についても記載されており、より優れているといえる考える。

<採決>

- ・種目「家庭」の教科書については、発行者「東書」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

保健

<報告>

- ・「東書」「大日本」「大修館」「文教」「光文」「学研」の6者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、保健体育の指導で重点とする着眼点1－(1)、2－(2)を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること(1) 資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること(2) 児童がICTを活用する学習活動の充実

<協議>

質問：・質問なし

意見：・保健の授業は知識・理解のみだと単調なものになってしまう。身近なもの、デジタルコンテンツを配置されていることで、工夫されているので、案の通り進めていくとよいと考える。

<採決>

- ・種目「保健」の教科書については、発行者「東書」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

道徳

<報告>

- ・「東書」「教出」「光村」「日文」「光文」「学研」の6者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、道徳の指導で重点とする着眼点1－（１）、1－（３）を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること（１）資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成
- 1 学習指導要領に関すること（３）主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

<協議>

- 質問：・「日文」、「光村」を比較し、「日文」には道徳ノートが別冊についているが、その点についての評価はどう捉えているか教えてほしい。
- ・着眼点2について、どのような差異があったのか、教えてほしい。
 - ・着眼点3について、どのような差異があったのか、教えてほしい。
- 回答：・2者を比較した時に、「日文」には、道徳ノートが別冊があり、「光村」には、別冊の道徳ノートはないが教科書に板書例や発問例があり、「光村」の方がより効果的でより優れていると判断した
- ・2－（１）については、どの発行者についても差異は見られなかったが、総合的に考え、一覧表のように判断をした。2－（２）については二次元コードの数についての差はあったが、大きな差はなかったと考える。
 - ・平均的なものはどの発行者もクリアしており、大きな差異は見られなかったが、絵の掲載の大きさ、量、重さなどから判断させていただいた。

意見：・意見なし

<採決>

- ・種目「道徳」の教科書については、発行者「光村」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

英語

<報告>

- ・「東書」「開隆堂」「三省堂」「教出」「光村」「啓林館」の6者について調査研究を行った。
- ・調査研究結果について、英語の指導で重点とする着眼点1－（１）、2－（１）を中心に各発行者の特徴を報告した。
- 1 学習指導要領に関すること（１）資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成
- 2 西濃地区の指導の方針に関すること（１）ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進

<協議>

- 質問：・教科書の別冊ピクチャーディクショナリーなどについて、各者差異があったのか教えてほしい。
- ・着眼点2－（２）について、外国語については音声の補助が重要になってくる。「東書」は、単元の目標も動画で確認でき、とてもよいと考える。「音声」や「動画」などのデジタルコンテンツの差異があれば、教えてほしい。
 - ・着眼点2－（３）について「東書」、「開隆堂」にどのような差があったのか教えてほしい。
- 回答：・別冊・巻末教材については、ほとんどの発行者が準備されている。各者で構成は工夫されている。
- ・デジタルコンテンツについては、どの発行者も二次元コードからデジタルコンテンツにリンクするようになっている。「東書」では、単元の終末にどのようなことができたらいののかの紹介があり、児童が学ぶことをイメージしやすくなっている。

- ・2者とも、単元別目標、観点別の目標が設定されているが、途中で児童が振り返りながら学びを進めるという点では、「東書」がより優れている。東京書籍の方が自分の気持ちや考えを表現する内容が多くなっていると判断した(比較例：東書 p41、開隆堂 p25)。

意見：・意見なし

<採決>

- ・種目「英語」の教科書については、発行者「東書」を採択原案とすることを全員一致で可決した。

第2号議案

- ・『令和6年度使用中学校用教科用図書についての調査研究結果』を確認し、協議及び採択原案を決定した。

<協議>

質問：・質問なし

意見：・質問なし

- ・全員一致で「令和6年度使用中学校用教科用図書西濃地区採択原案」のとおり可決した。
- ・来年度が中学校用教科用図書の採択替えの年となる。

第3号議案

- ・「附則9条本」の扱いについて事務局から説明した。

<採決>

- ・全員一致で承認した。

(5) 連絡

- ・各市町（組合）教育委員会において、8月4日までに議決をとること、8月8日までに事務局に議決の報告を依頼した。
- ・全ての各市町（組合）教育委員会の議決が整った段階で、議決される。議決が調わない場合は、規約等に基づき再協議となることを確認した。
- ・8月31日までは、一切を非公開とする。議決の内容について他言しないよう依頼した。
- ・9月1日以降、公開請求に応じて協議会委員の名簿等が公開となることについて了承を得た。
- ・各市町（組合）教育委員会において、情報公開の準備を進めることを確認した。
- ・会計報告を10月2日に開催予定の教育長会にて行うことを確認した。

令和5年度第2回岐阜県教科用図書西濃地区採択協議会の議事録は上記のとおりです。

岐阜県教科用図書西濃地区採択協議会

会 長 細江 敦

副会長 尾形 佳隆